

**「生涯活躍のまち(石垣版CCRC)」の導入に向けて
(意義・目的、機能・プログラム、対象)**

石垣市において「生涯活躍のまち」を導入する意義・目的

(1) 将来的に見込まれる人口減少への対応

- ・石垣市全体として転入が転出を上回る状態の確保
- ・人口減少が進む地域における人口増加

(2) 地域における新たな雇用の創出

- ・健康サポート、アクティビティ、医療・介護、食事、コミュニティ運営 など
- ・U・Iターンの雇用の受け皿にも

(3) 市民の交流・共働の場の創出

- ・地元市民も利用でき、多世代の地域交流の新たな拠点に

(4) 地域活動の振興・発展

- ・移住者が伝統行事・文化を始めとした地域活動の担い手に

石垣市において「生涯活躍のまち」を導入する意義・目的

(5) 地域の産業・経済の活性化、人材育成

- ・石垣で必要とされる専門人材の誘致の有効なツールに
- ・入居者の専門性を活かして、地元の産業・学校等において人材育成

(6) 健康施策の推進

- ・健康寿命を長くするためのプログラムの開発・発展
- ・地元市民もプログラムに参加でき、健康向上

(7) 地域消費への好影響

- ・例えば、100人の移住で、年間1.8億円の地域消費の喚起が期待

これらの意義・目的を念頭に置きつつ、石垣市の特性を活かした「生涯活躍のまち」を創造していくことが重要 ⇒ 「ユーザー視点のストーリー性」の先鋭化

石垣市の特性・強みとは？

(1) 豊かな自然環境

- ・日本最大のサンゴ礁海域「石西礁湖」など美しい海
- ・貴重で多様な生物・植物の宝庫
- ・星空保護区の認定に向けた取組
- ・一年中温暖な気候（年金平均気温20℃以上） など



(2) 海などを活用した多彩なスポーツ・アクティビティ

- ・スキューバダイビング、釣り、ヨット、カヌー など



(3) 特有の伝統行事・工芸品・郷土芸能

- ・豊年祭、海神祭、結願祭、アンガマ
- ・八重山上布、ミンサー織、陶芸
- ・とぅばーらーま、デンサー節、八重山舞踊 など



石垣市の特性・強みとは？

(4) 島特産の様々な食材、魅力ある食文化

- ・石垣牛、豊富な海産物(マグロ、アカジン、モズク、車海老など)
- ・南国特有の野菜・果物(島唐辛子、パイン、マンゴー、ハーブなど)
- ・泡盛



など

(5) 人気の観光リゾート地

- ・年間約120万人の観光客、交流人口の多さ



(6) 総合的な医療・診療体制の充実

- ・八重山病院を中心に一般医療、救急医療、訪問診療・看護、巡回診療等の医療サービスが地域に展開

(7) 首都圏等からのアクセス

- ・石垣-羽田直航便(往復計8便/日)を含む計30便/日程度
- ・石垣⇒羽田(直航便):約2時間40分 羽田⇒石垣(直航便):約3時間半

石垣市の特性・強みを踏まえた上でどのような機能・プログラムを備えた「生涯活躍のまち」とするか？

(考え方)

- (1) 移住するアクティブシニアにとって、**石垣島ならではのサービス・プログラム**を提供
- (2) 地域における観光・文化、スポーツ、農業、健康サポート、医療・介護等の**多様な事業主体との連携**を確保
- (3) 周辺の市民も利用可能な、**開かれた交流拠点**に

例えば・・・

- ・島野菜や島ハーブ等の栽培 ⇒農家と連携
- ・地元食材を活用した料理の提供・レシピの開発、調理教室 ⇒ホテルやレストランと連携
- ・伝統工芸品(織物、陶芸など)の制作・郷土芸能等の習得 ⇒商工業、文化団体と連携
- ・八重山の歴史・文化に関する学習と観光客への案内 ⇒観光・文化団体と連携
- ・海など豊かな自然を活用したアクティビティ等を通じた健康支援プログラム
⇒ヘルスケア、介護、大学等との連携

石垣市の「生涯活躍のまち」への移住はどのような人々をターゲットとするか？

(考え方)

- (1) 石垣市における**産業の活性化や人材育成のために必要とされる専門性**を持ったアクティブシニアが対象
- (2) 石垣市に移住する**アクティブシニアにとっても、やりがいがあり、地域の振興・発展に貢献できる役割・居場所**を確保

例えば・・・

- 観光に関するデータ分析やマーケティング等を通じて、観光産業の成長に貢献する人材 ⇒ 観光コンサルタント、旅行会社元社員 等
- 特産品の開発・製造・販路開拓に貢献する人材 ⇒ 商社や製造メーカーの元社員 等
- ITを活用した産業の競争力強化や児童・生徒へのIT教育に貢献する人材 ⇒ 高度IT人材(ITエンジニア 等) 等